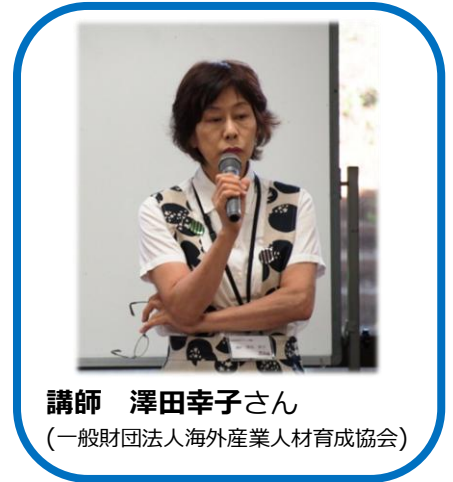


# 日本語学習ボランティア講座 通信①

平成 28(2016)年 9 月 27 日(火)10:00~12:00

本日より、『日本語学習ボランティア講座』がスタート。  
定員 20 人を超える 35 人のお申込みを頂きました。  
協力頂いている“てとととクラブ”の方とも相談し、最終回の交流会は手狭になるけれど、講義は広さに余裕があるお部屋なので、全ての方にご参加頂くことに決めさせて頂きました。様々な動機をお持ちの 20 代~70 代まで幅広い年齢層のみなさんと共に学ぶ機会となりました。よろしくお願いいたします。



講師 澤田幸子さん  
(一般財団法人海外産業人材育成協会)

第 1 回目のテーマは、  
『日本語ボランティアって何? ~地域日本語教室とボランティアの役割~』

**【理念】**

少数派(マイノリティ)の人も含め、社会はできている  
↓↓↓  
少数派であろうと、同じような生活の保障はされなければならない  
↑↑↑  
地域から、**多文化共生社会**をつくっていく

『同じ地域に住む隣人』、『彼(外国人)の問題ではなく、私の問題でもある』

**【あり方】**

教える/教えられる × ⇒ ○ お互いに学びましょう(相互学習)

**ボランティアする上で必要なこと**

- 外国人への理解を深めようとする姿勢(異文化コミュニケーション能力)
- 日本語が十分でない外国人とうまくコミュニケーションととる
- 日本語の認識力を磨く
- 学習方法を一緒に考える  
⇒その人の生活、目線で学習方法を考えることができると良い
- 教室以外では日本語を話す機会が無い人も多いので、教室での機会にできるだけ日本語で話をする
- 続けることが大事
- 頑張りすぎない
- 自己満足に陥らない
- 相手が一人の大人であることをわすれない

**『地域日本語教室どんな場所?何がしたい?』(皆で意見を出してみました)**

- ☆日本語の習得 『話をしましょう』の場 実践による学び
  - ☆交流する機会をつくることのできる
  - ☆伝統文化だけでなく、日々の生活の中の文化を伝える
  - ☆ホッとできる、自分のままでいられる場所(居場所)
  - ☆友達ができる、友達に会える場所
  - ☆バラエティ豊かな活動ができる
  - ☆地域の情報を得ることができ etc.
- いろんな役割を担え、いろんな活動ができる場所**

**実際の地域日本語教室の取り組みを知るために**



キムソンジャ  
代表: 金宣子さん

“てとととクラブ”は、1998 年から始まった活動です。日本語習得のサポートの場であり、リラックスできる場であることを心がけています。現在、学習者は中国の方が多く、他にフィリピン、韓国、モンゴル、ベトナム、ロシア、インドの方がいらっやいます。学習者の数は、年に寄って色々ですが、活動日(木・土)はいつでも場を開いていることを大切にしています。学習者もボランティアもまた来たくなる楽しい場でありたいと思っています。



カクタカ  
卒業生 角高めいさん

てとととクラブは実家です。

今は仕事も始めました。教育委員会からの依頼で学校の授業での学習サポートもしています。



ムンエリヨン  
卒業生 文愛鈴さん

娘が学校に行き始めた頃、“てとととクラブ”に来ていました。娘の学校での様子など、先生によく話をしました。娘は今、韓国と日本をつなぐことがしたいと言って映画の制作活動をしています。

娘さんが監督された作品  
『愛しのトラチ』



## 第1回目(9月27日)の参加者ふりかえり

- ・自分の価値観でみようとせず、相手(学習者・日本人)にとって、どういうふうにしたらよいかを自然と考えられるように、これからあと5回ある講座をしっかりと聞き、身につけたいと思います。
- ・とても興味深く、勉強させていただきました。日本語ボランティアを始めただけなので、この講座でも少しでも役立てていけたらと思います。先生の実体験に基づくお話や学習者の方々の生の声、とてもおもしろかったです。
- ・意外な落とし穴がありました。
- ・日本語ボランティアをしているので、澤田先生のお話を聞いて、「あるある」と思うところもたくさんありましたし、「ここ、気をつけないと!!」と今一度思うところもありました。次回からも楽しみです。
- ・たいへん、勉強になりました。自立心、マイノリティの視点で考える、想像力を働かせることに気づきました。
- ・固定観念がないつもりでしたが、最後のゲームでやられました。やっぱり外科医は男性だと思ってしまいました。この講座は外国人とのつきあい方も学べますが、日本人とのつきあい方もいっしょなので、日本語ボランティアのことだけでなく、人間のつきあい方を学べてよかったです。先生の説明はとてもよくわかり、講座のすすめ方はすばらしかったです。
- ・わかりやすい説明で、すっと入ってきました。目の前の人はどう思っているか、どう感じているか、想像力を働かせることが大事ということは、ほんとうに大切なことだと思います。
- ・日本語学習者の立場、ボランティアの役割がよくわかりました。ありがとうございました。ところで、学習者はここで、日本語を学べるということをどうやって知るのでしょうか？
- ・今回の講座はとても興味深く聞かせていただきました。澤田先生のテンポのあるお話にうなづいたり、あ~そうかと考えたりと楽しく参加することができました。次回かの講座が楽しみです。
- ・とてもわかり易い感じで良かった。自分の成長につなげたいと思います。日本語ボランティア、具体的にどんなことをするのだろうと興味がありましたが、少しわかったような気がします。ありがとうございました。
- ・文化、言葉などを押し付けをせず、日本語ボランティアがきっかけとなり、多文化共生社会を広げて、継続をしていくことが大切だとわかりました。
- ・まったく意味がわからない日本語ボランティアと言うこと…、第一歩が入ったと思う。
- ・日本語ボランティア、一度しかやったことがないのですが、3人の学習者のお話がおもしろかったです。最後のゲームは、自分の中の価値観や潜在意識がわかっておもしろかったです。
- ・ボランティアの心得とか、日本語ボランティアとして必要なこととか、的確に分かり、とてもためになりました。これからのボランティア活動に役立てたいと思います。これからボランティアを始めようかなと言う人に、入りやすい内容だったと思いました。各高さんと文さんのスピーチも感動しました。お疲れさまでした。
- ・初めてで良い勉強になりました。少しボランティアをしたことはありますが、言葉の難しさをいつも感じています。
- ・初めてボランティアに参加させてもらって、始まるまで、ばく然としていました。しかし、先生のお話がとても分かりやすく、1日でどんなことをするのか理解ができました。
- ・何年生きていても、あーそうかと思う内容でした。次回からが楽しみです。
- ・初めての日本語ボランティアという方たちの事を知りました。ボランティアにも学習者にもとてもやさしい集まりなのだとわかりました。次も楽しみです。
- ・日本語学習ボランティアというのがどういうものなのか、色々とお話を聞いたことでなんとなくイメージできるようになりました。この先5回の講座がとても楽しみです。
- ・先生の説明がとても分かりやすくして何度もうなづく場面があった。日本語学習という『先生と生徒』というかたくなるしい物を想像していたが、よりそい知ろうと会話するだけでよいと分かり、そんなに力まなくてもできるような気がした。次回以降もとても楽しみです。
- ・おっしゃることはよく理解できました。
- ・同じような講習を受講しましたが、もっともよく分かりやすくよかったです。
- ・ボランティア教室のあり方について、改めて理解することが出来ました。又、ボランティアの活動についても同様です。
- ・初めてふみ入れる世界です。話がわかりやすく安心して聞けました。これからの講座で、このボランティアの道に入れるかどうか深めていきたいです。
- ・思い込みの強さを自覚させられました。
- ・体験者の話を聞いて、活動の大切さが少しわかりました。必要な人に必要な時に適切なお手伝いができれば皆が幸せな気持ちになれると感じました。自分が考えていた形とは少し違いましたが、このような活動がもっと広がって参加者が増えれば良いなと思いました。
- ・いろいろな視点で見る、考えることを教えて頂きました。本当に学ぶことが多い講座でまた来週がとても楽しみです。ありがとうございました。
- ・学習者を「まじめ」と「やる気のない」などで分けない。相手もまた、自分を見ている、そして、何かしらの印象を抱いているということを忘れない。ここ半年、落語に凝ってます。桂米朝師匠が大好きです。

